

区分	事業名	目的	期 日	開催場所	対象・料金	事業内容	共催・後援	参加人員
県民参加育成事業	福島県吹奏楽トップコンサート	県民参加による舞台芸術発表の場の提供と、本県における吹奏楽の振興をねらいとして実施した。	6月24日(日) 午後1時開演 (1日1回公演)	いわき市 平市民会館	青少年・一般 500円	昭和58年度福島県吹奏楽コンクール上位入賞団体による演奏 (出演)平一中、小名浜一中、勿来工業、磐城、福島高専、梁川交響吹奏楽団	(共催) 福島県教育委員会 いわき市教育委員会 福島県吹奏楽連盟 (後援) 地元報道8社 朝日新聞福島支局 いわき民報社	1,770名
	福島県三曲演奏会	県民参加による舞台芸術発表の場の提供と、箏曲、尺八、三弦の古来伝統邦楽の鑑賞普及と振興をねらいとして実施した。	6月10日(日) 12時開演 (1日1回公演)	県文化センター 大ホール	青少年・一般 700円	福島県三曲連盟加盟会員による合同発表公演を行った。 (出演)福島県三曲連盟加盟会員 11団体 250名	(共催) 福島県教育委員会 福島市教育委員会 福島県三曲連盟 (後援) 地元報道8社	1,200名
講座学習事業	文化講座	生涯教育の重要性に鑑み、県民の高度な学習欲求に応える場の提供として実施した。 〔郷土史〕 地域に根ざした歴史の講義により郷土に対する再認識を促すことをねらいとした。 〔放送利用等〕 各分野のより高度な学習をねらった。	〔郷土史〕 7月21日(土) 8月5日(日) (土・日の 6回講義) 〔放送利用等〕 文学 毎月第3日曜 法学 毎月第2土曜 東洋文化 毎月第3土曜	〔郷土史〕 棚倉町中央公民館 〔放送利用等〕 県文化センター	一般 無料 ※放送利用等は 会による自主 運営	〔郷土史〕 講師陣 県文化施設整備室主幹 鈴木 啓 東北学院大学教授 大石 直正 歴史資料館主査 藤田 定興 歴史資料館課長 菅田 宏 福島大学教授 小林 清治 郡山女子大学教授 高橋 哲夫 〔放送利用等〕 ・文学コース 「現代詩及戦後文学」 ・法学コース「民法」 ・東洋文化コース 「東洋のこころ」 「カンダーラ」	(共催) 福島県教育委員会 棚倉町教育委員会 NHK福島放送局 近代文学であいの会 法学セミナー茸の会 東洋文化懇話会	〔郷土史〕 延 477名 〔放送 利用等〕 会員 文学 45名 法学 20名 東洋文化 38名
	文学講演会	文学に関する講演会を開催し、文学愛好家並びに一般県民へ学習の場を提供した。	10月6日(土) 7日(日) (2日2回)	白河市地域職業訓練センター 会津若松市 中央公民館	一般 無料	「古典文学講演会」として実施した。 (講師・演題) 「歴史と文学」 ～大鏡を中心として～ 山梨県立女子短期大学教授 竹鼻 績	(共催) 福島県教育委員会 白河市教育委員会 会津若松市教育委員会 (財)日本古典文学会	(白河市) 90名 (会津 若松市) 70名
	地方史研究講習会	福島県を中心とした東北地方の修験道に関する資料の取り扱い方、研究方法を講習し、これら資料の重要性の認識を促し、散逸防止と保存についての意識の啓発をねらいとした。	11月16日(金) 17日(土) (2日間)	県文化センター 2階会議室	地方史研究者、 市町村史編さん 委員、文化財調査員、 公民館、中・高校 社会科教師 無料	展示事業「福島県の修験道展」にあわせて開催した。 (講師)「東北の修験場について」 大谷大学名誉教授 五来 重 「東北の山岳信仰と修験」 元東北学院大学教授 岩崎 敏夫 (研究報告)県内研究者 玉川寿一、藤田定興、佐原義春の各氏	(共催) 福島県教育委員会 福島県史学会	延 232名